

貸借対照表

(2025年 3月 31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	15,542	流動負債	31,099
現金及び預金	13,877	短期借入金	6,294
関係会社貸付金	179	1年内返済予定の長期借入金	436
その他の	1,486	関係会社預り金	18,142
		賞与引当金	127
固定資産	49,347	未払金	5,937
有形固定資産	26,698	その他の	162
建物	13,032	固定負債	3,473
土地	10,161	長期借入金	2,270
建設仮勘定	974	退職給付引当金	50
その他の	2,528	役員退職慰労引当金	575
		その他の	577
無形固定資産	934	負債合計	34,573
投資その他の資産	21,715	(純資産の部)	
投資有価証券	2,127	株主資本	29,154
関係会社株式	17,492	資本金	2,341
関係会社長期貸付金	308	資本剰余金	6,836
繰延税金資産	718	資本準備金	6,836
賃貸用不動産	802	利益剰余金	19,978
その他の	266	利益準備金	436
		その他利益剰余金	19,541
		別途積立金	3,414
		繰越利益剰余金	16,127
		自己株式	△2
		評価・換算差額等	1,163
		その他有価証券評価差額金	1,163
		純資産合計	30,317
資産合計	64,890	負債・純資産合計	64,890

(注)表示金額については、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

〔 自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月31日 〕

(単位：百万円)

科 目	金 額	
営 業 収 益		3,876
営 業 費 用		2,354
営 業 利 益		1,521
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	22	
受 取 配 当 金	62	
不 動 産 賃 貸 料	276	
そ の 他	50	411
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	98	
不 動 産 賃 貸 原 価	52	
そ の 他	4	156
経 常 利 益		1,776
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	22	22
税 引 前 当 期 純 利 益		1,754
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	10	
法 人 税 等 調 整 額	△211	△201
当 期 純 利 益		1,955

(注)表示金額については、百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

建物については定額法を採用しております。

主な耐用年数

建物

31年～36年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

主な耐用年数

自社利用のソフトウェア

5年

(3) 投資その他の資産

定額法を採用しております。

主な耐用年数

賃貸用不動産

36年

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率に基づき、貸倒懸念債権等については個別に債権の回収可能性を勘案して回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与支給に充てるため、支給見込額のうち当事業年度に対応する金額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定率法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定率法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、子会社との業務受託契約で定められたサービスを契約期間にわたり継続して提供する義務を負っており、契約期間にわたり履行義務が充足されるため、当該期間にわたり収益を認識しております。また、収益は、子会社との契約において約束された対価の金額で測定しており、これらの対価は、履行義務を充足してから1年以内に受領しており、重大な金融要素は含んでおりません。

(貸借対照表に関する注記)

1. 担保資産

担保に供している資産

建物	35 百万円
土地	1,539 百万円
計	<u>1,574 百万円</u>

上記に対応する債務

短期借入金	5,884 百万円
1年内返済予定の長期借入金	396 百万円
長期借入金	<u>2,170 百万円</u>
計	8,450 百万円

2. 減価償却累計額

有形固定資産	6,131 百万円
賃貸用不動産	506 百万円

3. 保証債務

次の関係会社の電子記録債務等及び金融機関からの借入金等に対し、債務保証を行っております。

ヒロセ株式会社	1,855 百万円
ヒロセ補強土株式会社	132 百万円
HIROSE(SINGAPORE)PTE.LTD.	1,960 百万円
HIROSE VIETNAM COMPANY LIMITED	257 百万円

4. 関係会社に対する金銭債権及び債務（区分表示したものを除く）

短期金銭債権	99 百万円
短期金銭債務	6 百万円
長期金銭債務	6 百万円

5. 取締役、監査役（執行役）に対する金銭債権及び金銭債務

長期金銭債権	13 百万円
--------	--------

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産の発生主な原因は、関係会社株式評価損の否認等であり、繰延税金負債の発生主な原因は、その他有価証券評価差額であります。

(関連当事者との取引に関する注記)

関連会社等

種類	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	ヒロセ 株式会社	所有 直接 100%	資金の貸付 資金の預り 資金の預り 業務の受託 不動産の賃貸 役員の兼任 債務保証	資金の貸付(注1) 資金の預り(注1) 利息の支払 業務受託料の受取 (注2) 不動産賃貸料の受取 (注2) 債務保証(注3) 保証料の受取	△7,290 11,785 54 732 628 1,855 6	— 関係会社 預り金 — — — — —	— 11,785 — — — — —
子会社	ヒロセ補強土 株式会社	所有 直接 100%	資金の預り 役員の兼任	資金の預り(注1) 利息の支払	1,465 11	関係会社 預り金 —	3,112 —
子会社	日本ノーディッ グテクノロジー 株式会社	所有 直接 81%	資金の預り 役員の兼任	資金の預り(注1) 利息の支払	1,000 2	関係会社 預り金 —	1,500 —
子会社	HIROSE (SINGAPORE) PTE.LTD.	所有 直接 100%	資金の貸付 債務保証 役員の兼任	資金の貸付(注1) 利息の受取 債務保証(注3) 保証料の受取	△200 19 1,960 1	関係会社 貸付金 関係会社 長期貸付金 — —	107 308 — —

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)資金の貸付及び預りについては、市場金利を勘案して決定しております。また、取引金額については純額で表示しております。

(注2)業務受託及び不動産賃貸の取引条件については、市場実勢を勘案して決定しております。

(注3)電子記録債務等及び金融機関からの借入金等に対し、債務保証を行っております。また、取引金額には、当事業年度末残高を記載しております。

役員及び個人主要株主等

種類	会社等の名称 又は氏名	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
役員	廣瀬太一	被所有 直接 0.84%	当社取締役	事務所敷金の支払 (注1) 事務所家賃の支払 (注1)	— 2	長期差入 保証金 —	13 —

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)事務所敷金及び事務所家賃の金額は、一般取引先の取引条件と同様に決定しております。

(1株当たり情報に関する注記)

1株当たり純資産額

1,893円35銭

1株当たり当期純利益

122円12銭